

平成三十年
厚生労働大臣表彰

厚生労働大臣表彰を受賞して

地域活動 渡辺 美智子

この度は厚生労働大臣賞という思いもよらない栄誉を賜り、大変身の引き締まる思いです。受賞に当たりご尽力をいただきました本会の会長を始め、県や市の担当者の皆様、その他の関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

私の職歴を顧みますと、念願だった病院栄養士からスタートしましたが、当初はまだ献立作成、栄養計算等の給食管理が主な仕事でした。徐々に治療の一環として質の高い食事療法の提供と病態の栄養管理、栄養指導に専門性が求められるようになり、先輩にも支えられやりがいを感じ業務に取り組みました。その後、病院での経験を活かし市役所市民健康課に勤務することになり、生活習慣病の予防対策が重要視されてきた時期であったため、多様化する疾病、急速な高齢化の進展に対応できる市民への栄養指導等、行政分野での役割について多くのことを学ばせて頂きました。さらにその後、縁あって小児科の栄養士として乳幼児の栄養管理、学童の肥満に対する栄養指導、地域の小中学校での食育にも関わり、活動の場を広げることができました。

このように、乳幼児から老年期まで、また病院から行政まで様々な分野で栄養士として仕事ができただけは得難い経験であり、それぞれの職場でご指導いただきました多くの諸先輩、同僚の皆様に、心より感謝申し上げます。

平成三十年
公益社団法人
日本栄養士会
会長表彰

「学びの場」

社会福祉法人 けやきの村 境野 ちふみ

この度は日本栄養士会会長表彰をいただき皆様に厚く御礼申し上げます。

私がこの道を歩み始めたのは、およそ30年前でした。福祉の障害者の方々が生活されている施設で家庭で過ごすのと同じように食事を楽しんでいただけるように、と最初はそれを目標に取り組みました。しかし、すぐに壁に突き当たり、栄養士会へ入会しました。同じような経験をされたであろう沢山の先輩方に導かれ、福祉施設における給食管理について多くのことを学ぶことができました。福祉といっても乳幼児期から高齢期まで様々な種類のサービスがあります。私が現在勤めさせていただいている障害者（支援施設）の分野における栄養支援については、まだまだ発展途上であると思われまます。畑は違っても栄養士会の諸先輩方やこれから活躍される若い会員の方々と今後も共に学んでいきたいと思ひます。

平成三十年
公益社団法人
福島県栄養士会
会長表彰

公益社団法人福島県栄養士会会長賞を受けて

地域活動事業部 阿部 和子

この度、福島県栄養士会会長賞をいただき誠にありがとうございました。

福島県へ転居してから私の栄養士としての活動は、平成9年より安達町（合併後は二本松市）の乳幼児検診・栄養相談や食生活改善推進員の普及活動に関わることから始まりました。栄養士会の事業の、食育体験学習講師・栄養ケアステーション事業・イベント協力、東日本大震災後は、被災者支援・子育て支援の県の委託事業等も行っていきます。

福島県での栄養士としての活動の20年は、ちょうど福島県栄養士会との歩みと重なります。この間、諸先輩や関係者各位の御指導の元、今日まで歩んでくることが出来ましたことを誠に心より感謝申し上げます。今後も微力ではございますが、地域の皆様の健康の為にお役に立たせて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願ひ致します。

平成三十年
知事感謝状

知事感謝状を受けて

いわき市立総合磐城共立病院 都澤 京子

去る10月17日、健康ふくしま21推進県民表彰式にて知事感謝状を頂きました。大変光栄に思うと同時に、これまでお世話になった皆様への感謝の気持ちを改めて噛みしめる機会となりました。

昭和56年にいわき市役所に栄養士として入所してから、児童福祉施設、教育委員会、福祉厚生部、そして現在の磐城共立病院と、同じ栄養士の仕事ではあっても、異動の度に新人同様の私に丁寧に仕事を教えていただいた先輩方、そして一緒に悩み、支えてくれた同僚や後輩の方々に心から感謝申し上げます。

当院は12月25日に新病院いわき市医療センターとして開院します。開院後、患者さんに寄り添った栄養管理を行っていくことが、これまで様々な経験をさせていただいたことへの恩返しと考え、尽力して参りたいと思ひます。今後とも宜しくお願ひ致します。